

## ループ化により目指すまちの姿

### 札幌の新たな魅力(都市空間)が創出されています。

～新しい車両と緑の空間、沿道の新たな街並みが調和し、訪れたい魅力的な空間を作りだします。電停などのデザインの工夫や、人が歩きやすい環境の整備、多様性も都心の魅力をより一層高めています。～

◆人を中心とした空間で、歩行者と公共交通中心の空間づくり等の取組の検討を進めます。

電停では、地域の情報発信、観光客への道先案内がなされています。

地域や周辺店舗と連携した交流空間がつけられています。

青い空の下、より魅力的で、開放的なオシャレな通りが広がります。

### まち歩きを気軽に楽しむ、交流空間が創出されています。

～停留場が魅力発信の拠点の1つとなり、まち歩きの楽しさを提供するなど、人々が憩い楽しみ、四季を通じて地上も地下も賑わいあふれ、芸術や文化の薫る創造空間が生まれています。～

◆地域や市民が主体となった取組を支え、連携していくとともに、他の通りへの回遊や波及効果を促すような、新たなまちの楽しみ方の仕組みの検討を進めます。

大きな車窓からまちの風景や賑わいが楽しめます。

## 人が主役のまち 札幌の魅力と交流のシンボルストリートへ

～四季が織りなす魅力的な風景やそこで生まれる交流空間を市民とともに作り、国内外にアピールすることでシンボルストリートとしての魅力を高めます～

バリアフリーで歩道から直接乗降できます。

### すべての人にとって、やさしいまち(場所)が実現しています。

～ユニバーサルデザインの導入など、すべての人が気軽に都心内を回遊でき、特に高齢者にやさしいまちになるとともに、公共交通の利便性向上により利用も増加し、まちの活性化にもつながっています～

◆利用者視点で都市の道具がつけられ、車中心から人中心のまちづくりへの検討を進めます。

既設線では、都心からのアクセシビリティが向上し、観光施設と連携した新たな魅力がつけられています。

SAPICAと商業施設との連携により、カード1枚でまち歩きを楽しめます。

沿道ではオープンカフェやショップが並んでいます。



※パースはイメージです。